



問 住宅確保要配慮者に対して市としてきめ細かな居住支援を

高齢者、障がい者、子育て世帯、所得の低い世帯、被災者などが、住みたいところ・住み慣れたところで希望に合った住宅を確保できるよう、きめ細かな居住支援に取り組むことが重要である。市営住宅において、連帯保証人確保や生活支援サポートに取り組むとともに、市独自の居住支援協議会を設置し、きめ細かな居住支援に取り組み、加えて、生活支援にも取り組むべきではないか。

答 相談者に寄り添い、適切な支援につながるよう努める

連帯保証人については、令和2年7月に規則の改正等を行い、単身の高齢者や障がい者等、一定の配慮が必要な世帯は、2人を1人にできる特別措置を講じている。また、生活支援として、単身高齢者世帯に対して、福祉部局等との連携に加え、安否確認など緊急の場合、警察や消防本部に同行を要請するなどのサポートを行っている。

市独自の居住支援協議会については、現在、三重県居住支援連絡会の一員として、講演会や相談会などの居住支援に取り組んでおり、行政・関係団体等、県下一体となって取り組むメリットがあるため、先進事例等を調査し、検討していく。

その他の質疑・質問

- 給食の食材調達に関し、随意契約の合理的な活用、市内業者優先の考え方の整理に取り組むべき
- 災害対策図上訓練の教訓として指定避難所の建物を使用開始する際の安全確認に専門家の協力を
- 手話の普及のため、津市手話言語条例の制定を
- 道路におけるコンクリート舗装について、モデル的事業実施を含めその特定に応じた活用を**など**

きめ細かな居住支援政策を通じて、誰もが住みたいところで安心して暮らせる社会を



法務部 津市住宅確保要配慮者支援課 作成



問 幼児教育の大切さについて、どのように捉えているか

幼児教育については、大分県中津市のように先進的に取り組んでいる自治体もある中で、津市においては、「非認知能力」を育てる取り組みが遅れていると認識している。

教育なしに地域の発展はない中で、昨今、文部科学省が地方自治体に対し、幼児教育に係る政策を打ち出すよう促しているが、幼児教育の大切さについて、どのように捉えているか。

答 人間形成の上でしっかりと根を張っていく基礎の部分である

子どもに係る問題には、不登校に係る問題、家庭に係る問題や教育に係る問題など、さまざまなものがあるが、小さいうちから、家庭と連携を取りながら子どもたちの学びに取り組む必要性を、文部科学省が改めて打ち出したと捉えている。

幼児教育は、木に例えると根っこの部分を育てるように、生涯にわたる人間形成をしっかりとしていく上で、非常に大事な部分であり、小学校就学までの乳幼児期は、しっかりと根を張っていく基礎の部分になると認識している。

その他の質疑・質問

- 教育について
 - 教員の職に人気がないのは
 - 部活動（運動部）は体育か、スポーツか
 - 小学校におけるプール授業は公平に
- 農林水産部の役割について
 - 農地への太陽光発電施設の設置に係る対策を**など**

「自己の崇高な使命を深く自覚」している教員が少なくなってきたのでは

教育基本法

(教員)

第九条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が図られるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。